

# いさーち

日立市教育研究所報 296号

令和2年3月23日発行

〒317-8601 日立市助川町1-1-1

日立市教育研究所長 小池 洋一

## 教育研究所の3学期の活動報告

### 「発達障害の理解と支援研修会」を1月と2月に開催しました

1月25日(土)、山梨大学大学院 准教授 吉井 勘人 先生を講師にお招きし、発達障害の理解と支援研修会を実施しました。市民の皆様や教職員・保護者等 130名の方が参加しました。

「発達障害のある子どもの社会性とコミュニケーションを育むための環境づくりと関係づくり」というテーマで、発達障害のある子どもの理解と支援について子どもの視点から考えるお話や、社会性の発達を支援することがなぜ重要なのかなどについてご講話いただきました。実際の支援方法を写真や動画で紹介されるなど、すぐにでも活かせる内容が多くありました。

☆参加された方の感想(抜粋)☆

- ・発達障害のある子どもをまずは受け入れ、困り感や特性に寄り添って(理解して) 少しずつ、根気強く「共有」と「情動調整」の発達支援をその子に合わせて行っていく必要があることがよく分かりました。
- ・具体的な視覚教材や共有の支援の具体例(遊び)を見せていただき、とても参考になりました。明日からの子どもとの関わりに活かしていきたいと思います。
- ・発達障害を「理解する気持ちこそ最大の支援」という言葉が印象に残りました。また、視点や解釈をポジティブに変えるリフレーミングは子どもと関わる際に意識していきたいと思いました。



2月16日(日)、東京都立矢口特別支援学校 主任教諭 川上 康則 先生を講師にお招きし、発達障害の理解と支援研修会を開催しました。子どもたちの支援に関わる方々を対象に、合わせて64名の方が参加しました。

『「発達につまずきがある子どもたちの輝かせ方」～学校・家庭でできること～』というテーマで、「子どもの心に響く関わり方のコツ」として8個のキーワードをもとに、子どもたちとの信頼関係を育むためのポイント、発達につまずきがある子を支援する側に必要な知識や考え方、子どもたちの自尊感情を育てることの大切さなどを、専門用語の説明と共に、分かりやすくご講話いただきました。常に参加者同士が意見を交わす場があり、とても温かな雰囲気での研修会となりました。



### ☆参加された方の感想(抜粋)☆

- ・2時間のすべてのお話の内容が、大変ためになりました。私たちがかわり方、考え方、あり方が変われば、どんな子ども充実した幸せな学校生活を送れると思いました。
- ・「なるほど、この子はきっとこういう気持ちだったんだ。」と川上先生のお話を聞いて、ストンと納得できることがたくさんありました。
- ・ほめ方、叱り方について聞き、自分が今まで行っていたほめ方、叱り方が子どもにとって伝わりづらいものであったのだと気づききっかけとなりました。
- ・とても温かく、分かりやすく、体験的な研修会で良かったです。特別支援に携われていることが、とても幸せなことだと感じました。
- ・子どもとの関わりのコツがよく分かりました。「分かる」と「できる」はちがうので、明日から「できる」ように実践に生かします。子どもの人生観が豊かになるようにかかわっていきたいと思いました。
- ・お話を聞いている間、今まで出会ってきた子どものことをたくさん思い出しました。園に戻ったら他の職員と共有して保育に取り入れたいと思います。
- ・色々な講演を受けてきたが、今回が一番、自分の中のもやもやが解消され、すっきりしたように感じました。また、紹介していただいた考え方や指導法はすぐに取り入れられるものばかりで勉強になりました。これまでを振り返り、「あー、こうしてしまっていたな」と後悔する場面もありましたが、「次からこうしてみよう!」とポジティブになることもでき、嬉しい時間でした。



令和元年度も、各研修にたくさんのご参加をいただき、本当にありがとうございました。不登校支援研修会、発達障害の理解と支援研修会など、次年度も皆様にとって有意義となる研修を企画いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

## 適応指導教室 ちゃれんじくらぶ 「第3回 調理活動」

多賀教室は2月25日(火)に、日立教室は2月18日(火)に、今年度3回目の調理活動を行いました。多賀教室では、シフォンケーキ、チーズケーキ、フライドポテト、野菜サラダを、日立教室では、オムライスと中華スープを作りました。どちらの教室も献立を決める時から自分たちの考えを伝え合い、当日も協力し合って、楽しくおいしい料理を作ることができました。

学校からは、校長先生はじめ担任の先生など、たくさんの先生方がご参加くださいました。先生方がおいしそうに料理を食べる様子を見ている時の、嬉しそうな表情がとても印象的でした。



【多賀教室】



【日立教室】



## 令和元年度 教育研究所の事業紹介

### 教育課題調査研究

令和元年度は、「日立市の小学校プログラミング教育～Let's PROGRAMMING for Hitachi kids!～」を作成しました。

令和2年度より小学校において実施されるプログラミング教育の日立市版年間指導計画や授業案、各小学校で実践された授業や校内研修の様子等が掲載されています。

4月に市内の各小・中学校に配布予定です。是非、子どもたちの実態に合わせて御活用ください！！

また、教育研究所ではプログラミング教材（LEGO We Do2.0）の貸出も行っており、今年度は小学校の授業や校内研修で活用していただきました。



### こども発達相談センター 小集団活動「なかよし教室」



「視覚支援」  
活動の流れやルールを分かりやすく提示しました。活動後は、花丸シールで達成感を得ました。



「宝探しをしよう」  
教室に隠されたカードを協力して見つけ、その後、カードを種類毎に分類します。概念分け、友だちとの協力などをねらいとして行いました。



「自由遊び」  
自由遊びは、活動の般化の場として有効です。「入れて」「いいよ」「貸して」と友達とのやりとりもできるようになりました。

## 適応指導教室 「ちゃれんじくらぶ」



「ハイキング」  
多賀教室は河原子海岸へ、日立教室は初崎海岸まで歩きました。長い道のり、みんなで頑張りました！



「歴史・動物ふれあい体験」  
歴史館では火おこし体験をしたり、かみね動物園で動物と触れ合ったりしました。



「卒級生を送る会」  
今年度卒級する3年生をみんなでお祝いしました。これからも自分の決めた道を進んでください。応援しています。

## 教育相談員 研修会

教育相談員としての基本的な知識・技術等を習得し、資質の向上を目指して3回の研修を行いました。

- 第1回 相談活動を行っていく上で、心掛けていきたいこと  
グループ協議
- 第2回 今、目の前にいる子を理解するために  
講師 茨城県カウンセリングアドバイザー 光林 智暁 先生
- 第3回 子どもの発達支援の基本  
講師 茨城キリスト教大学 教授 望月 珠美 先生



## 編集後記

突然の休校で、子どもたちにとっても、先生方にとっても、思うようにお別れを言えず、これまでに経験のない年度の終わりとなってしまいました。でも、ふと見上げると、桜のつぼみも膨らみ、春は確実に近づいていることを感じます。新しい場所へ歩みだす姿をしっかりと送り出し、また新年度を彩るたくさんの出会いを楽しみに準備を始めましょう。教育研究所の事業に御理解と御協力をいただき本当にありがとうございました。新年度も一人一人の毎日が充実し、実り多きものなることを願っております。(久保田)